令和4年度 富山県障がい者スポーツ指導員養成講習会（初級）

今年度の受講者は23名。富山県総合体育センター(富山市秋ヶ島)を会場に、11月23日(水)、11月26日(土)、12月4日(日)、12月10日(土)の4日間の日程で開催しました。コロナ禍での開催ということで、検温・消毒の徹底・座席配置の工夫など、感染予防策を徹底して行いました。

（講師敬称略）　　会場：富山県総合体育センター

1日目　令和4年11月23日（水・祝）

「各障がいの理解」（肢体）
西能病院整形外科ドクター　岩澤　智宏
「各障がいの理解」（聴覚）
富山県聴覚障害者協会副理事長　小中　栄一
「各障がいの理解」（視覚）
富山県視覚障害者福祉センター所長　高島　豊
「コミュニケーションスキルの基礎」
富山大学教育学部准教授　福島　洋樹
「各障がいの理解」（知的）
社会福祉法人めひの野園うさか寮施設長　東　真盛

2日目　令和4年11月26日（土）

「各地域の障がい者スポーツ推進の取り組み」
「障がいのある人との交流」（実技）
富山県障がい者スポーツ
指導者協議会会長
箕島　英二

受講者の声
今回講習会を受講し、いつの日か障害を持っていることが特別な事ではなく、ただちょっと他の人と違うだけ!!健常者と障害のある人が、同じ場所で学んだり、運動したり、お互いをリスペクトできる環境づくりのお手伝いができたらなと思います。(N・T)

3日目　令和4年12月4日（日）

「スポーツのインテグリティと指導者に求められる資質」
富山大学教育学部准教授　神野　賢治
「障がい者スポーツに関する諸施策」
富山県障害福祉課管理係長　寳達　芳郎
「全国障害者スポーツ大会の概要」
富山県障害者スポーツ協会事務局長　恒川　修
「各障がいの理解」（精神）
障害者社会復帰センターあゆみの郷センター長　上波　薫

受講者の声
演習や実習でみなさんとふれあう機会があり、あいさつを交わしたり、声を掛け合うことで心がほぐれるような感じがあり、人の心は人で溶かされるのだなと実感しました。(N・S)

4日目　令和4年12月10日（土）

「各障がいのスポーツ指導上の留意点と工夫」
帝京平成大学准教授　泉　敏郎
「障がい者スポーツの意義と理念」
京都産業大学教授　奥田　睦子
「安全管理」
JCHO 金沢病院整形外科ドクター　金澤　芳光

受講者の声
講習会を受講して、スポーツを通して健常者・障害の有無の関係なく、楽しく笑顔で交流できる、共生できる環境を当たり前にしていきたいと思いました。(K・K)

令和4年度 第1回障害者スポーツ教室・クラブ代表者連絡会議

期　　日：令和４年５月14日（土）　午前９時30分から
会　　場：富山県総合体育センター
議　　題：（１）令和4年度　富山県障害者スポーツ協会事業について
（２）令和4年度　富山県障害者スポーツ教室開催事業について

令和４年度　第1回の教室・クラブ代表者連絡会議は、上記の日程で富山県総合体育センター会議室にて行われました。19の教室を対象に障害者スポーツ協会の事業説明や会計処理についての説明を行いました。今年度は、「ブラインドマラソンクラブ」がスポーツ教室に昇格、障害者空手道教室が「パラ空手道」に名称変更し、聴覚野球教室が活動休止となりました。また、教室の運営に関しては、障がい者スポーツ指導員との積極的な連携により、教室運営を進めていく方針を伝えました。その他、交流会等開催補助金交付について変更があり、助成金増額の説明をしました。

令和4年度　第２回障害者スポーツ教室・クラブ代表者連絡会議 及び 障がい者スポーツ指導員連絡会議合同研修会

日　　時：令和５年２月19日（日）　午前９時30分から
会　　場：富山県総合体育センター
主　　催：富山県、富山県障害者スポーツ協会
参 加 者：富山県障がい者スポーツ指導員　及び　富山県障害者スポーツ教室・クラブ代表者54名
連絡会議：９時30分から10時15分（教室・クラブ代表者のみ）
年間の活動報告提出 及び 次年度の計画・アンケートの提出について
10時15分～10時30分（障がい者スポーツ指導者協議会からの連絡）
研 修 会：10時30分～12時00分（教室・クラブ代表者　及び　障がい者スポーツ指導員　）
演題　「心と体のリフレッシュ運動」ストレッチやヨガから
講師　スポーツアカデミー小矢部　健康運動指導士　太田　枝里

令和４年度　第2回の教室・クラブ代表者連絡会議は、上記の日程で富山県総合体育センター会議室にて行われました。18教室と3クラブの代表者で計２２名の出席があり、令和４年度の活動実績の報告や決算報告並びに次年度の教室の実施計画等の提出がありました。また、次年度の教室の運営に関して、活動の問題点や課題などの調査をしました。その後、障がい者スポーツ指導員３０名が加わり、合同研修を行いました。研修会は、講師の太田枝里さんのあふれる笑顔と楽しい会話を交えた実技でした。ゆっくりとした動きと静かな呼吸運動で落ち着いた気持ちになり、日頃のストレス解消や心身のリフレッシュにつながる研修会となりました。

連絡会議

実技研修

参加者の声

◆ヨガに対するイメージが変わった気がします。身体だけを動かして痛いイメージがありましたが、脳からもヨガは行えるというのは、新しい考えでした。自分も介護体操などで、手指を使ったことを行いますので何か親近感を感じました。

◆たくさんの笑顔と元気をいただきました。介護予防のため地域の方々と一緒に「楽しくできること」と伝達していきたいと思います。ありがとうございました。

障害者スポーツ活動　活性化事業報告

サウンドテーブルテニス 審判員養成講習 富山県卓球協会レディース連盟

令和4年7月2日(土)・3日(日)
富山市障害者福祉プラザ

富山県では2000年国体を契機にSTTの審判に力を入れる様になりましたが、レディースの審判員も高齢化となり、年々減少しています。そのため今回は、障がい者スポーツ指導員の方々にも審判資格を取得していただきました。今後は各大会において審判の経験を積んでもらい、レディース審判員との両輪でSTTの選手の前向きな熱い気持ちに応えて行きたいと思います。

第8回スポランふらっと杯 NPO法人ふらっと

令和4年11月25日(木)
救急薬品市民交流プラザ

多くの方のご協力により「第8回スポランふらっと杯」を終えることができました。救急薬品市民交流プラザの本会場とZoomによるオンライン参加での開催は3回目となります。本会場とZoomの9か所を合わせて160名の参加となりました。障がいのある方、親子、介護の必要なお年寄り、学生、ボランティア、射水市社会福祉協議会の方々により楽しく交流活動を行いました。

だれでも参加 かんたんスポーツ 小矢部市身体障害者協会

令和5年2月19日(日)・3月12日(日)
小矢部市民体育館

雨降る寒い朝でしたが大勢の参加があり、5m・6mコートは2コート増設して競技を行いました。7mコートで2イニングともパーフェクトという人が現れ、成績発表では大きな歓声があがりました。南砺市協会の方で以前から何度も参加している方で、主催者側も嬉しくなりました。もっと他市との交流を深め、共に手を取り合って共生社会実現の輪を広げたいと強く思いました。

障害者スポーツ活動　交流会事業報告

卓球バレー 第10回富山オープン卓球バレー大会

令和4年9月4日(日)　富山市障害者福祉プラザ

感染防止策をとり、久しぶりに大会を開催しました。参加チームは、教室参加者1チームと高齢者2チームによるリーグ戦形式で楽しく試合をしました。今後はいろんな施設からの参加を目指し、審判講習会や競技ルールを資料を使ってわかりやすく説明したり、出前指導も積極的に行いたいと考えています。体験は毎月の教室で行いますので参加をしてみてください。

サウンドテーブルテニス交流会 富山県障がい者スポーツ指導者協議会との交流

令和4年10月10日(月)　富山県視覚障害者福祉センター

STT教室では、障がい者スポーツ指導員の方々に視覚障害の特性を理解していただこうと思い交流会を計画しました。富山県視覚障害者協会会長の塘添誠次氏と富山県視覚障害者福祉センター所長で歩行訓練士の高島豊氏による講演や実技の後、交流試合を行いました。交流試合は教室参加者対スポーツ指導員が対戦し、アイマスクを着用し視覚遮断の状態を体験してもらいました。教室参加者とスポーツ指導員の明るい笑い声と共に交流会は終了しました。

車椅子テニス交流会 第20回富山県車椅子テニス大会(2022)

令和4年9月11日(日)　常願寺川公園テニスコート

コロナ禍のため、3年ぶりに富山県車椅子テニス大会が開催できました。富山・石川・福井・長野から10選手が参加しました。シングルス・トーナメントで試合を行い、熱戦が繰り広げられました。会場設営やボールパーソンには障がい者スポーツ指導員に協力していただきました。各選手ともコロナ禍の間も地道な練習を続けてきた成果を確認する大会となり、多くの選手が技術の上達と今後への手応えをつかんだようです。

第22回フェスティバル　障害のある人もない人もみんなでフライングディスク!

令和5年3月5日(日)　県総合体育センターにて

世の中の活動制限の緩和を受け、82名の選手と32名の役員の参加を得て、3年ぶりとなる大会を開催しました。感染対策として、競技方法を縮小し、午前中の個人戦のみの実施としました。参加した選手の表情から、日頃の活動の成果を発揮できた喜びや、久しぶりの交流場面での嬉しさの様子が伺え、意義ある大会開催になったと感じました。

令和4年度　障がい者スポーツ審判員養成講習会（陸上競技）

令和２年度に開催した障害者スポーツ審判員養成講習会「陸上競技」は、日本陸上競技連盟競技規則及び全国障害者スポーツ大会競技規則を基に、陸上競技の競技規則（用具、競技方法、競技手順など）について学び、実践して理解を深めることで日本陸上競技連盟公認審判員B級の資格を取得できる講習会としました。令和３年度の富山県障害者スポーツ大会「陸上競技会」が中止となったため、令和２年度の障害者スポーツ審判員養成講習会「陸上競技」の講義と、令和４年度富山県障害者スポーツ大会（陸上競技会）の運営役員の業務を携わることで19名の方が日本陸上競技連盟公認審判員B級審判資格を取得されました。取得された皆さんには、来年度からの富山県障害者スポーツ大会（陸上競技会）において公認審判員としての業務を行っていただく予定です。

○このほか、「令和4年度サウンドテーブルテニス交流会」3月19日(日)富山県視覚障害者福祉センター「第23回あいの風車椅子バスケットボール大会」3月25日(土)・26日(日)ありそドームが開催予定です。

全国大会・国際大会の活躍

NO	競　技	大　会　名	開催期日	氏　名	成　　績
1	ボッチャ	ボッチャ東京カップ2022	4/8～10	江崎、成嶋、皆森、藤井 (オープンドリームチーム)	予選リーグ1位通過 決勝トーナメント初戦敗退
2	パラ空手道	第18回　全日本パラ空手道競技大会	6/4	進野　愛莉	型競技　女子6-B 一回戦敗退(5位入賞)
3	水泳	第25回日本知的障害者選手権水泳競技大会	7/24	角井　俊生	50m平泳ぎ　33.63(3位) 100m平泳ぎ1:14.24(3位)
4	水泳	2022　ジャパンパラ水泳競技大会	9/17～18	角井　俊生	100m背泳ぎ　1:18.06 100m平泳ぎ　1:17.06
5	ボウリング	第56回全国ろうあ者体育大会in北海道 第33ボウリング競技	9/17～18	新田　恭一 浜谷　宏志	6ゲーム計1073点　団体6位 6ゲーム計945点
6	卓球	第56回全国ろうあ者体育大会in北海道 第54回　卓球競技	9/17～18	男子シングルス(一般)　蜷川　優也 林　詢也 伊藤　恭兵 男子シングルス(シニア)　須貝　三男 蜷川　和博 女子シングルス(一般)　蜷川恵吏子 混合ダブルス　蜷川 和博・蜷川恵吏子 男子ダブルス　林　詢也・蜷川 和博 女子ダブルス　蜷川伊智子・蜷川恵吏子	ベスト8 一回戦敗退 二回戦敗退 二回戦敗退 一回戦敗退 一回戦敗退 一回戦敗退 ベスト8 予選リーグ敗退
7	ボッチャ	第2回ボッチャオープンチャンピオンシップ	9/23～25	OP立位の部　藤井　潤	一回戦敗退
8	卓球	2022年度第8回スペシャルオリンピックス日本 夏季ナショナルゲームズ・広島(卓球)	11/4～6	女子シングルスTT-S-F-2 中山　真美	1位
9	ボウリング	2022年度第8回スペシャルオリンピックス日本 夏季ナショナルゲームズ・広島(ボウリング)	11/4～6	男子シングルスM18　森永　匡俊	6位
10	水泳	2022年度第8回スペシャルオリンピックス日本 夏季ナショナルゲームズ・広島(水泳)	11/4～6	50m自由形 M07　花木　伯人 M05　増岡　涼 M06　三松　隆之	1位 4位 3位
11	ボウリング	2022年度全日本デフボウリング選手権大会	11/12～13	新田　恭一 浜谷　宏志	4回戦進出 2026点 21位 2017点　24位
12	車いすマラソン	第41回　大分国際車いすマラソン	11/18～20	フルマラソン　細川　一雄 ハーフマラソン　梅澤ゆとり 棚田　優子	2:10:05　27位 0:59:52　31位 1:04:29　3位
13	車椅子 バスケットボール	第32回日本選抜 車椅子バスケットボール選手権大会	12/17～18	富山県WBC 初　戦:栃木レイカーズ戦 交流戦:COOLS東京戦	75対46で敗退 64対52で勝利
14	チェアースキー	2023全日本チェアースキー チャンピオンシップinよませ	2/3～5	チャレンジ大回転の部オープン 山本　修 寺西　章泰	1:12.13　1位 1:25.20　2位
15	卓球	第45回全国ろうあ者卓球選手権大会	2/4～5	一般男子総当たりリーグ戦 蜷川　優也	2勝3敗　6位

とやま県民スポーツ大賞の受賞

とやま県民スポーツ大賞　最優秀賞

シニアアスリート部門　細川一雄さん

富山県車椅子マラソンクラブ

「とやま県民スポーツ大賞を受賞して」

子供のころから体を動かすことが好きで、友達と工夫をしながら野球やサッカー、バレーを車いすで参加していました。社会人になり、マラソンを車いすで完走した新聞記事を目にしてから、私も車いすマラソンを始めようと思い、生活用車いすでいろいろな大会に申し込みましたが、当初は「健常者の邪魔」「事故発生の恐れがある」など冷たい対応ばかりで苦しい時もあり、何度も抗議して渋々了解してもらい参加したこともありました。しかし、今は多くのマラソン大会で富山県でも障害者の参加が可能になり嬉しく思っています。今、休日は多くの仲間達とスポーツ用車いすに乗り、汗を流し楽しんでいます。これからは、障害の有無にかかわらず誰もが楽しめる車いすマラソンを広めたいと心から願っています。

とやま県民スポーツ大賞

サポート部門　日南田一昌さん

富山県障がい者スポーツ指導員

「指導員になったきっかけと心がけ」

長男が全国障害者スポーツ大会に出場したことをきっかけに、障がい者スポーツ指導員という方々の役割を知りました。全国大会を楽しんだ長男の笑顔を見た時、「いつか自分も指導員になりお返ししたい」と思い、初級指導員資格を取得し、様々な競技に参加させてもらい現在に至ります。また、長男は大会をきっかけに競技に興味を持ち、体力・筋力もつき、とても健康的になりました。この経験から、障害者の方が安全に楽しく運動して健康的になってほしいと思い、日々の活動を続けております。今回の受賞は今後の励みにもつながります。ありがとうございました。

令和4年度　中央研修及び審判員養成派遣参加報告

全国障害者スポーツ大会 障害区分判定研修会（鹿児島県）

令和4年 7月

スポーツ指導員　日南田一昌

参加者には病院関係者が多く、専門用語の説明を理解するのが大変でした。障害区分は競技ごとに区分が違う上に、その区分によって出場できる種目が違うため、クラス分けの重要性・慎重さが求められると思いました。

上級障がい者スポーツ指導員養成講習会（埼玉県）

令和4年 7月

スポーツ指導員　安井　浩美

年齢、経歴などそれぞれ違い初めて会う人達ですが、目指す物が同じなので、休憩時間でも積極的に情報交換や他県の活動内容などを情報交換ができ、刺激を受けモチベーションが上がりました。講義内容も濃く実践に役立つもので有意義な講習でした。実技は一致団結し、協力しあって楽しい時間でした。これからも情報交換をし、互いに高め合っていける貴重な仲間ができました。

第17回障がい者スポーツ指導者全国研修会（福井県）

令和4年 12月

スポーツ指導員　浦田　享

障がい者スポーツ指導員の仲間入りをしてから、この研修会の存在を知り初めて参加することができました。基調講演では、パラリンピックメダリストと小学生との逸話や今後求められる指導者像についての話があり、工夫して実行するのが超一流であることに共感しました。また、分科会は「精神障害とスポーツ」と「学校体育と地域スポーツの連携」を選択しました。今後に役立つ知識や各地域の実情などの有益な情報を知ることができました。

2022年度日本パラ水泳連盟公認障がい者水泳指導員資格修得講習会（兵庫県）

令和5年 1月

富山県水泳連盟　西野　博子

神戸の「しあわせの村」は障がい者に必要な物が揃っている施設だと感動しました。プールも安全に利用しやすく、今回はじめてプール用の車いすを利用しました。講義では、障害の医学的知識・水泳指導の導入法に重点を置いて学び、また実技では、入水法・退水法、呼吸の練習、リラクゼーション法を学びました。今後この経験を活かし、自分に何ができるかを考えながら愛情をもって指導に携わっていこうと思いました。

富山県水泳連盟　藤田　智弥

現在、水泳教室に関わっていますが、身体障害の参加者が少ないため、今回の講習会では、脳性まひに特化した講習会だったことから、とても勉強になりました。今回の講習を受けて、障がい者指導員の方への伝達講習や指導内容をマニュアル化するなど、自分に何ができるかを考えるきっかけとなりました。

障がい者スポーツ医養成講習会（東京都）

令和5年 2月

西能病院整形外科　岩澤　智宏

参加者は整形外科医師が多かったが、全国からさまざまな診療科の医師が36名集まりました。全国には障がい者スポーツ医が600名ほどいることを知りましたが、富山県ではまだ10名弱とまだまだ少ないと感じました。講習会は全体をとおして和やかな雰囲気で行われ、同じ志をもった参加者同士会話が弾む場面が多かったように感じました。今後、公認パラスポーツ医の資格を取得し、日常診療にとどまらず障がい者スポーツの現場へ積極的に関わることができるよう努力していきたいと考えています。

富山県障害者スポーツ協会からお知らせ

富山県障害者スポーツ協会では、ホームページを活用し、富山県障害者スポーツ大会の開催や募集及び主催事業の紹介などをしています。多くの皆さんにご覧いただければ幸いです。

令和5年度　主な事業予定（講習会及び県外派遣含む）

【富山県障害者スポーツ協会事業】

○第1回教室・クラブ代表者連絡会議　令和5年5月13日（土）
○障がい者スポーツ指導員養成講習会（初級）
　期日　令和5年11月25日（土）、12月3日（日）、10日（日）、16日（土）の４日間
　会場　富山県総合体育センター　など
○障害者スポーツ審判員養成講習会（フライングディスク競技）　令和5年7月29日（土）.30日（日）
○第2回教室・クラブ代表者及び障がい者スポーツ指導員連絡会議・研修会　令和6年2月24日（土）

【日本パラスポーツ協会事業】

○中級障がい者スポーツ指導員養成講習会　○上級障がい者スポーツ指導員養成講習会
○障がい者スポーツ指導者全国研修会　○全国障害者スポーツ大会障害区分判定研修会

富山県障がい者スポーツ指導者協議会から

○市町村や施設等の主催する、障害のある方のスポーツ大会や練習会などをサポートします。
○富山県障害者スポーツ大会の運営に協力するとともに、富山県障害者スポーツ教室・クラブに支援・協力しています。

令和５年度 第23回富山県障害者スポーツ大会　出場選手募集！

富山県障害者スポーツ大会は、障害者がスポーツを通じて、希望と勇気をもって社会に参加する意欲を喚起するとともに、県民が障害者についての関心と理解を深めることを目的として毎年開催しています。大会では、水泳・陸上・フライングディスク・卓球の4競技会が行われます。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響による制限が緩和され、県大会の4競技会がすべて行われましたが、予断を許さない状況ではあるため、令和5年度も新型コロナウィルスの感染防止対策を徹底して開催の予定です。

全国障害者スポーツ大会は、この4競技会での記録を参考に富山県代表候補選手が選考されます。自己記録の挑戦やさまざまな交流の機会としてたくさんの方々の参加をお待ちしています。

令和5年度　第23回富山県障害者スポーツ大会の各競技会を次の日程で開催します。

競　技　会	日　　時	場　　所	参加申込期限
水　泳　競　技　会	4月16日㈰ (9：30～12：30)	富山市東富山温水プール (富山市米田 65-4)	2月28日㈫
陸　上　競　技　会	5月21日㈰ (9：00～15：30)	富山県総合運動公園 陸上競技場 (富山市南中田 368)	4月11日㈫
フライングディスク 競　技　会	9月24日㈰ (9：00～12：30)	富山県総合運動公園 屋内グラウンド 及びファミリー広場（富山市南中田 368)	8月8日㈫
卓　球　競　技　会	11月12日㈰ (9：30～12：30)	富山県総合体育センター (富山市秋ヶ島 183)	9月26日㈫

参加資格

出場選手は、次のすべての条件を満たす者

①令和5年4月1日現在、13歳以上の身体障害者手帳又は療育手帳を有する者。あるいは療育手帳の取得の対象に準ずる障害のある者。ただし、卓球競技会については、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた者。あるいは、その取得の対象に準ずる障害のある者も可 。(なお、フライングディスク競技会、卓球競技会については12歳の生徒も可とする。)

②県内に居住する者。(ただし、県外居住者であっても県内の学校に通学している者及び施設に入所・通所している者を含む。)

参加申込

①居住する市町村の障害者福祉主管課を通じて、富山県障害者スポーツ協会に申し込む。

②特別支援学校の生徒及び施設に入所・通所している者は、学校又は施設を通じて富山県障害者スポーツ協会に申し込む。(個人申込は不可)

お知らせ

①水泳競技会と陸上競技会の記録は、令和5年度特別全国障害者スポーツ大会(燃ゆる感動かごしま大会)、フライングディスク競技会と卓球競技会の記録は、第23回全国障害者スポーツ大会(SAGA2024佐賀大会)の県代表選手選考の参考となります。

②詳細については、市町村・特別支援学校・施設等に配付する各競技会の開催要項をご覧ください。

全国障害者スポーツ大会を目指しませんか！

令和5年10月28日（土）～30日（月）

全国障害者スポーツ大会は、障害のある人たちが競技や交流を通じてスポーツの楽しさやお互いの理解を深めたり、障害者の社会参加を推し進めることを目的として開催される国内最大の障害者スポーツの祭典です。令和５年度は鹿児島県で開催されます。

「公認障がい者スポーツ指導者制度」の名称変更について

令和５年４月以降、名称が次のように変更となります。　公益財団法人日本パラスポーツ協会

	旧（令和5年3月31日まで）	新（令和5年4月1日から）
◆指導者制度名称	「公認障がい者スポーツ指導者制度」 →	**「公認パラスポーツ指導者制度」**
◆指導者資格名称	「公認〇級障がい者スポーツ指導員」 →	**「公認〇級パラスポーツ指導員」**
	「公認障がい者スポーツコーチ」 →	**「公認パラスポーツコーチ」**
	「公認障がい者スポーツトレーナー」 →	**「公認パラスポーツトレーナー」**
	「公認障がい者スポーツ医」 →	**「公認パラスポーツ医」**

<編集後記>令和2年からおよそ3年間、新型コロナウイルス感染症の影響により社会活動が大きく制限され、多くの行事や大会が中止となりました。しかし、今年度はその制限も緩和され、全国障害者スポーツ大会の開催など、久しぶりに障害者スポーツに活気があふれる一年となりました。今後は、障害の有無にかかわらず、安心してスポーツに取り組むことができる社会となるように願いたいです。